

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回11月の「てがたん」は11月14日(土)で、「木の実、草の実」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは11月3日(火・祝)です。よろしくお願いいたします。

\*参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

## 10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年10月10日(土) / 晴れ
- 参加者 33名(一般22名 子ども11名)
- スタッフ 8名(石原直子、伊東茂子、岡廣志、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名(斉藤安行)

## 観察記録 - 10月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ、アオサギ/カモ科：マガモ、カルガモ、コガモ/キジ科：キジ/クイナ科：バン、オオバン/シギ科：イソシギ/カモメ科：ユリカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/ウグイス科：ウグイス(地鳴き)/エナガ科：エナガ/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/家禽：コブハクチョウ、ドバト

【両生類】 ニホンアマガエル 【は虫類】 ヤマカガシ 【貝類】 ウスカワマイマイ

### 【昆虫・クモ】

バッタ目：エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、オカメコオロギ、クマスズムシ、クサヒバリ、シバズ、マダラスズ、カネタタキ、クビキリギス、ウスイロササキリ、ヒシバッタ、オンバッタ、ツチイナゴ(幼虫と成虫)、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ  
 カマキリ目：コカマキリ、オオカマキリ(卵のう)、ハラビロカマキリ(卵のう)  
 チョウ目：ウラギンシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ムラサキシジミ、ウラナミシジミ、ツマグロヒョウモン、モンシロチョウ、ジャコウアゲハ(蛹)、クスサン、ホウオウジャク(幼虫)、ホタルガ、アオイラガ(幼虫)、リンゴドクガ(幼虫)  
 カメムシ目：ヨコヅナサシガメ、アオバハゴロモ、ヨコバイ  
 ハチ目：コガタスズメバチ、キイロスズメバチ、クロアナバチ、ツチバチの仲間、コマユバチの仲間  
 甲虫目：センチコガネ、ヨモギハムシ、ナナホシテントウ、オオヒラタシデムシ、ゴミムシの仲間

### 【花】

キク科：ノコンギク、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、コセンダングサ、アメリカカタカサプロウ、ハキダメギク/シソ科：アキノタムラソウ/イネ科：チヂミザサ、ススキ/ツユクサ科：ツユクサ/タデ科：イヌタデ、ヤブタデ(ハナタデ)、ツルドクダミ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/アブラナ科：タネツケバナ/クスノキ科：シロダモ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ

### 【つる植物】

巻きつる型：ウマノスズクサ、クズ、カナムグラ、ツルマメ、ヤマノイモ、フジ、アケビ、ツルドクダミ  
 巻きヒゲ型：アマチャヅル、ヤブガラシ、サルトリイバラ、ヒヨドリジョウゴ  
 寄りかかり型：ママコノシリヌグイ、イシミカワ、ナワシロイチゴ  
 よじ登り型：ツタ(ナツツタ)、キツタ

【果実】 シロダモ、ムクノキ、エノキ、クスノキ、ハナミズキ(植栽)、エゴノキ、シラカシ、ツバキ(植栽)

### お詫びと訂正

案内人の古川さんにも指摘されました通り、てがたん当日のパンフレットに誤りがありましたので訂正いたします。

- 巻きつき型の訂正：ヒヨドリジョウゴ(x巻きつき型→○巻きヒゲ型)、ムベ(x巻きヒゲ型→○巻きつる型)、ツルドクダミ(x巻きヒゲ型→○巻きつる型)
- 種名の訂正(xキツタ→○ツタ)
- 写真の訂正 ツルドクダミの右写真→カラスノエンドウの写真

以上です、失礼いたしました。



# 10月の観察アルバム



10月のテーマは「巻きつく植物」でした。てがたんでは初めて取り上げたテーマでした。実際に観察してみると、色んな場所にツル性植物がいることが分かりました。他にはたくさんの実をつけた植物を観察しました。来月あたりには色づいた実をもっと観察できると思います。



案内人 古川克彌さん



1 クズ

エノキに絡み付いていました。右巻きです。



2 ヒヨドリジョウゴ

ナス科の植物で、クレマチスのように葉柄で巻きつく植物。



3 カラスウリ

電線に巻きついて、実がなっていました。



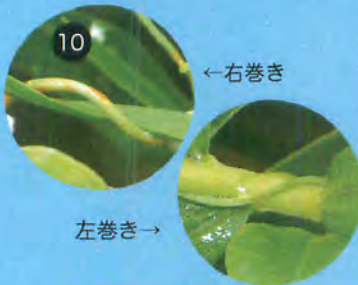
4 ヤブガラシ

巻きヒゲが途中で巻き方を変えているのが分かります。



5 イシミカワ

夕だ科の寄りかかき型植物。実がきれいでした。



10

←右巻き

右巻き→

ツルドクダミ

夕だ科の巻きつる型の植物。右巻きと左巻きを観察しました。中国原産の多年草で、サツマイモのような塊茎を薬用にするために持ち込まれました。



10月の観察コースと見た生き物



6

人口島の様子

イソシギやセイタカシギなど、水辺の鳥を観察しやすい場所です。夏にはカラスの行水もみることができました。どんな冬鳥が観察できるのか楽しみです。



12

アケビ

アケビは落葉しますが、同じアケビ科のムベは常緑です。



11

エビツル

葉の裏の茶色（または白色）が目立ちます。



9

ツルマメ

大豆の原種とされています。遊歩道にヤブマメもあります。



8

アキノノゲシ

ハルノノゲシ（ノゲシ）は花期が長い本種は秋のみに咲きます。



7

アマチャツル

噛むとほのかに甘いです。黒っぽい緑色の実がありました。

## 他にこんな生き物を観察しました！



ウラギンシジミ

成虫越冬するチョウで、秋頃になるとよく見かけるようになります。マメ科の花や実を食べます。大きさは2~3cm オスは翅の裏の斑がオレンジで、メスは青白い色。



クスサンの体液を吸う  
ヨコヅナサシガメ

てがたんコースではお馴染みのヨコヅナ~ですが、今回はお食事を観察しました。カメムシ同様、細い口で体液を吸います。



ウスカワマイマイ

殻の大きさが2cmほどのカタツムリで、斑のように模様があるのが特徴です。乾燥にも強いので、森林の住宅地などでよく見かける種です。



交尾するハネナガイナゴ

コバネガイナゴよりも翅が長いハネナガイナゴの交尾を観察しました。8~10月頃に成虫がよく見られ、卵で越冬し翌年の5~6月頃に孵化します。



ホシホウジャクの幼虫に  
寄生するコマユバチ

たくさんのコマユバチの働きについていました。農業では寄生バチがアブラムシや青虫の数を抑える生物農薬の役割もしています。